

レジメンcode:	C15-15
適応がん種:	食道癌
レジメン名:	FP(1000/75)-RT
間隔:	4週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
CDDP	シスプラチン(フリプラチン)	75	mg/m <sup>2</sup>	点滴(2時間)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	1000	mg/m <sup>2</sup>	点滴(24時間)	d1~4
RT		1.8	Gy	計 50.4Gy	

\* 2コース実施後、有効が認められた症例(CR or good PR)では、追加化学療法【FP(1000/75)】2コース行うことを考慮する。

★尿量確保に注意し、必要に応じて利尿剤(フロセミド等)を投与する。

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	20ml	1 A			
					ポート確認
2) 硫酸Mg補正液		1 A			
生食	500ml	1 袋			
	主管①	点滴	2時間		
3) 生食	500ml	1 袋			
	主管②	点滴	2時間		
4) ホスアプレピタント	150mg	1 V			
生食	100ml	1 本			
	▶側管①	点滴	30分		主管②開始60分後から
5) パロノセトロン	0.75mg	1 V			
デキサート	6.6mg	1 V			
デキサート	3.3mg	1 A			
生食	50ml	1 本			
	▶側管②	点滴	15分		側管①に続いて
6) シスプラチン(フリプラチン)		75 mg/m <sup>2</sup>			【ケモセーフ使用】
生食	500ml	総液量650ml以下になるように生食を調製			
	主管③	点滴	2時間		
7) フルオロウラシル(5-FU)		1000 mg/m <sup>2</sup>			【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋			
	主管④	点滴	24時間		
8) マンニトールS	300ml	1 袋			
	▶側管③	点滴	1時間		主管④と同時に
9) ソルラクト	1000ml	1 袋			
	▶側管④	点滴	3時間		側管③に続いて

〈所要時間 〉

次ページあり

day2、3【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	▶側管①	点滴	15 分	
2) 硫酸Mg補正液		1 A		
生食	1000ml	1 袋		
	▶側管②	点滴	4時間	側管①に続いて
3) フルオロウラシル(5-FU)		1000 mg/m <sup>2</sup>		【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋		
	主管①	点滴	24時間	前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day4【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	▶側管①	点滴	15 分	
2) フルオロウラシル(5-FU)		1000 mg/m <sup>2</sup>		【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋		
	主管①	点滴	24時間	前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day5

1) 生食	50ml	1 本		
				フラッシュ
2) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒		
				ルートロック

〈所要時間 ー〉

【文献】

海外第Ⅲ相試験 J Clin Oncol.2002;20(5):1167-74 (PMID:11870157)

国内臨床試験(JCOG0909試験) J Clin Oncol.2020;38(15\_suppl):4545 (PMID:35932949)

・適応:cStageⅡ、Ⅲ

・放射線照射:局所、領域へ41.4Gy/23fr → 局所、リンパ節転移へ off cord で total 50.4Gy/28fr